

勇退の神大・古川前監督 「出会う人恵まれた」

昨季限りで勇退した神大監督古川祐一氏。11年間で5度の神大野球リーグ1部リーグ制覇を果たし、浜・神大の古川祐一前監督(横浜DeNA)監督(49)をねぎらう会が26日夜、横浜市内で開かれた。古川氏は「理想通りではない後付けのような雑草人生。行く先々で出会う人に恵まれて良い野球人生だった」と振り返った。

東京・足立西高から神大に進み、現役時代に4度のリーグ優勝を経験。社会人野球のTDKでプレーしたあと、神大コーチを経て07年に監督に就任した。この日は関係者ら約60人が出席。神大野球連盟の正藤雄理事長は「2014年の全日本大学野球選手権で準優勝するなど、輝かしい功績を残してリーグ発展に尽力してくれた」とたたえた。

古川氏は今後、同大学スポーツ戦略室に勤務しながら総監督の立場でチームを見守る。「学生に貢献したい」と決意を語った。矢部 真太(写真)

「学生に貢献したい」と決意を語った。矢部 真太(写真)



記念品と花束の贈呈を受ける神大前監督の古川祐一氏(左)
横浜市内